

ふじさわ子ども・若者委員会 活動実績

第1回 6月29日(日)	(1) マニフェストづくりワーク 「自分が市長だったら、藤沢市として何をやる？」
	(2) グループに分かれて記者発表スタイルで発表 ・テーマ設定の理由：背景や課題 ・取組：具体的なアクション ・目指す変化：理想の未来
	(3) 大きな3つのテーマ ①居場所づくり 地域の活性化・遊び場・安心できる空間づくりなど ②ライフデザイン 学校、進路、生きやすさ、将来への不安など ③その他・総合的な藤沢市の政策(交通・環境・観光など)
第2回 7月27日(日)	(1) テーマに関する現状把握 ①グループでの話合・意見だし ②主観(印象)と客観的な事実(データ)の整理 ③抽象的な表現と具体的な内容の整理
	(2) 問いを考える(現状把握の正当性) ①「印象」の確認→他の子ども・若者への状況確認 ②オンラインプラットフォームで聞くためのアイデア出し ※別紙①
第3回 8月5日(火)	(1) 湘南アイパーク見学 ※別紙②
第4回 8月24日(日)	(1) 仮説作成 現状把握のための問いをストーリーを立てて整理 背景→実態→理想
	(2) 問いを固める 「主観の意見」→「客観的に比較できる」 「●●が少ない」→「具体的な利用経験や頻度を確認する」
	(3) 都市マスタープランに関する意見聴取 ※別紙③・④

ふじさわ子ども・若者委員会 活動実績

第5回 9月28日（日）	(1) 課題の絞り込みに向けた話し合い 例：「子どもの居場所がない」という課題にも、「遊び場がない」「空き家が多い」「バスが少ない」など多様な要素が絡んでいることから、どの部分を深掘りするのか (2) 政策提言に向けたまとめの方向性 「現状・理想・課題・解決策（提案）」という構成で整理していく必要があることが説明され、付箋を使って次の4つの観点からアイデアを可視化 1 テーマ・主張 2 現状と考える課題（理由や背景） 3 提案の内容（目指す理想／具体策／自分たちにできること） 4 市へのお願い（市長へのメッセージ／気づいたことなど）
第6回 10月19日（日）	(1) 政策提案形成シート作成 1 チーム名・メンバー 2 テーマ・ビジョン（何をを目指すのか？） 3 テーマに関心を持った理由（原体験・気づき） 4 注目した課題と分析 現状の説明（エビデンス・データ） かわせみボイスの活用 5 提案の内容 具体的なアイデア（制度・仕組・場所など） 提案の効果（藤沢市がどう良くなるのか） ■ 居場所チーム ●「居場所がない」という広いテーマから、どんな種類の居場所か（遊び場？学習場所？安心できる空間？）をさらに掘り下げました。 ●かわせみボイスの回答結果をもとに、遊ぶ場所や勉強場所に制約を感じているこどもたちの声を紹介し、改善の方向性を検討。 ■ 政策提言チーム ●藤沢市の政策がこどもに知られていないことを課題に設定。 ●「わかりやすい政策の伝え方」をテーマに、授業など日常の中で藤沢市を知る機会の設計を提案内容として検討。 ●かわせみボイスの回答からも、「市のことを知る機会がない」といった声が複数見られ、提案の裏付けとして活用。 ■ ライフデザインチーム（オンライン） ●夕方のオンライン会議で、将来への不安・いきなり将来を見据えた進路選択を迫られるが、何も準備ができていない・いろんな状況の生徒がいることへの配慮などをテーマに、課題整理と提案の方向性を議論。 ●「選択肢が見えないこと自体が不安」という声を出発点に、支援情報の可視化や、具体的な仕事の多様性を知る機会を提供する施策を検討中。

ふじさわ子ども・若者委員会 活動実績

<p>第7回 10月25日（土）</p>	<p>(1) 模擬プレゼンテーション</p>
<p>第8回 11月3日（月・祝）</p>	<p>(1) 「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム</p>
<p>第9回 11月29日（土）</p>	<p>(1) 振り返り</p>
	<p>(2) DX推進計画に関連する意見聴取の試行 ※別紙⑤・⑥</p>

【活動の記録】

